



令和6年 運営推進会議



デイサービス五天山ふくしあ

2024年7月12日

令和6年度7月運営推進会議 次第

- 1 … 開会の挨拶
- 2 … 出席者紹介
- 3 … 運営推進会議の開催目的
- 4 … 令和5事業報告
- 5 … 活動・行事報告
- 6 … 意見交換
- 7 … 次回開催予定
- 8 … 閉会の挨拶

運営推進会議の開催目的

介護保険の地域密着型サービスに係る運営推進会議については、関係省令等により、次のとおり規定います。

地域密着型通所介護の事業者は、地域密着型通所介護等の提供に当たっては、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、当該事業所が所在する区域を管轄する地域包括支援センターの職員、地域密着型通所介護等について知見を有する者等により構成される協議会（「運営推進会議」という。）を設置し、おおむね6月に1回以上、運営推進会議に対し活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

令和5年 五天山ふくしあ地域密着型通所介護事業所 事業計画

地域のニーズに応じてサービスを提供するにあたって、健康で明るく生きがいのある生活を理念として、体力低下を防ぐ取り組みを継続し、誰もが、自立した生活が出来るよう支援する。また、介護予防センターと共催で行った「コキアでつながろう」をきっかけとし、地域との連携を図り、地域福祉の拠点組織となることを目指します。

重点推進項目

- 1 残存能力の維持と身体機能向上**
マシンを活用したプログラムを継続して、身体機能を向上し、介護度が改善できるように日々取り組みます。
- 2 快適に過ごせる環境づくり**
感染症対策を万全とし、清潔な環境で心地よくお過ごしいただける様環境整備を徹底します。
- 3 介護の質向上と介護事故〇**
身体機能は維持しながら、介護技術の向上と事故等が起きない様に取り組みます。
- 4 ケアマネジャーとの連携**
日ごろより、ケアマネジャーとの交流を行い、情報伝達が速やかに行える様にします
- 5 地域に知ってもらう取り組み**
運営推進会議開催や、介護予防センターと昨年行った「コキアでつながろう」の取り組みをもとに、地域との連携を強化していきます。
- 6 確実な情報伝達**
情報伝達が早く確実に行える様、職員一人ひとりが配慮して行動します。

五天山ふくしあ・毎日の機能訓練を紹介します

リハビリ専用マシンの紹介

ドイツの医療認証を受けた3台の専用マシンを完備しております。マシン利用時には専門の機能訓練指導員がサポートいたします。

[1] ホリゾンタルレッグプレス

足の力をつけましょう
立ったり座ったりの動きが楽になります。



[2] ヒップアブダクション

歩行が楽になります
立ち上がり、歩く際のバランスがとりやすくなり、まづきにくなります



[3] ローイング

背筋が伸び呼吸が楽になります
猫背や腰の曲がりなど少しづつ伸びていき呼吸が楽になります。



「パワーリハビリテーション」とは？

介護保険の発信国であるドイツで医療認証を受けた、リハビリ専用の医療マシンを利用したトレーニングで老化や障害によって衰えてしまった運動機能や行動パターンを回復させようとするものです。普段の生活では動かすことのなくなってしまう筋肉や関節などを、無理のない範囲で痛みなく運動を続けることで機能回復や重症化の予防につながります。

パワーリハビリでの改善事例

- ・杖なしで歩けるようになった
- ・立ち・座りが楽になった
- ・腕が上がりやすくなった
- ・猫背が治った



プレミアムジムエクササイズ 体幹トレーニング

木製のベースを床に置き、2本のファンクションバーを握るだけ。
誰でも簡単にエクササイズをすることができます。
普段は動かさない筋肉も無理なく使うことができ、気持ちよ〜く運動することができます。

1 残存能力の維持と身体機能向上

利用者の身体機能の改善・向上を目指し、マシンを活用したプログラムを継続しています。利用者一人ひとりが自身の能力を理解することで、自立した日常生活を送れるようになっていきます。このプログラムの継続的な努力とケアの甲斐があり、ADL（日常生活動作）利得の平均値が1.9から4.1に向上しました。これは、身体機能が改善・向上するだけでなく、外出の機会が増えることで社会とのつながりが増え、認知機能の改善、言語機能の維持、幸福感や満足感を得られることにも結びつく、素晴らしい成果と言えます。

自立支援・重度化防止の観点から、一定期間内に当該事業所を利用した者のうち、ADL（日常生活動作）の維持又は改善の度合いが一定の水準を超えた場合を新たに評価するものです。

評価対象利用開始月（例えば1月）と当該月から起算して6月目（例えば6月）に測定したADL値の差です。

（例）1月が80、6月が75→ADL利得は、
 $75-80=-5$ （悪化）

1月が75、6月が80→ADL利得は、
 $80-75=5$ （改善）

地域密着型通所介護・事業報告		(令和5年度)												デイサービス五天山ふくしあ			
上半期		4月		5月		6月		7月		8月		9月		小計		備考	
		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型			
実人数 (名)		19		16		16		17		17		17		102			
月延べ人数 (名)		152		126		132		131		150		132		823			
要支援	支援1	3	16	3	16	3	17	3	15	3	18	3	17	18	99		
	支援2	3	24	3	24	3	25	3	22	3	25	3	16	18	136		
要介護	要介護1	9	79	8	71	7	71	7	66	7	76	8	75	46	438		
	要介護2	2	13	1	4	1	2	1	4	1	4	1	3	7	30		
	要介護3	1	9	0	0	1	3	2	12	2	14	1	8	7	46		
	要介護4	1	11	1	11	1	14	1	12	1	13	1	13	6	74		
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
実施日数 (日)		20		20		22		20		22		20		124			
利用者数		168 -16		168 -42		185 -53		168 -37		185 -35		168 -36		1,042 -219			
稼働率 (%)		63.3		52.5		50.0		54.6		56.8		55.0		55.3			
下半期		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		令和5年度合計	
		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型		地域密着型	
実人数 (名)		18		19		21		21		20		19		118		220	
月延べ人数 (名)		154		142		159		148		146		161		910		1,733	
要支援	支援1	3	17	3	14	3	14	3	15	3	14	3	17	18	91	36	190
	支援2	3	26	4	25	4	24	4	20	3	18	3	20	21	133	39	269
要介護	要介護1	8	77	8	71	9	88	9	82	8	79	9	98	51	495	97	933
	要介護2	2	12	2	13	2	11	2	11	1	1	1	3	10	51	17	81
	要介護3	1	9	1	8	2	10	2	8	4	24	3	23	13	82	20	128
	要介護4	1	13	1	11	1	12	1	12	1	10	0	0	5	58	11	132
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実施日数 (日)		21		20		20		19		19		20		119		243	
利用者数		176 -22		168 -26		168 -9		160 -12		160 -14		168 -7		1,428 -518		2,916 -1,183	
稼働率 (%)		61.1		59.2		66.3		64.9		64.0		67.1		63.7		59.0	

令和6年7月/1日現在 登録者の状況 要介護度 利用者年齢

男性・・・5名 女性・・・14名

合計・・・19名

要支援1・・・3名 男性0名 女性3名

要支援2・・・4名 男性2名 女性2名

要介護1・・・9名 男性2名 女性7名

要介護2・・・1名 男性1名 女性0名

要介護3・・・2名 男性0名 女性2名

要介護4・・・0名 男性0名 女性0名

要介護5・・・0名 男性0名 女性0名

平均介護度1.0

年齢 男性82歳～97歳

女性66歳～92歳

平均年齢 男性87歳10ヵ月

女性86歳3ヵ月

令和6年7月1日現在 登録者の状況

地域別登録者数

曜日毎登録者数

利用回数

<u>西野・11名</u>	<u>月・7名</u>	<u>週1回・6名</u>
<u>平和・3名</u>	<u>火・10名</u>	<u>週2回・8名</u>
<u>福井・1名</u>	<u>水・6名</u>	<u>週3回・3名</u>
<u>山の手・3名</u>	<u>木・8名</u>	<u>週4回・0名</u>
<u>宮の森・1名</u>	<u>金・10名</u>	<u>週5回・2名</u>

居宅介護支援事業所

五天山園居宅介護支援事業所

西区第2包括支援センター

西区第1包括支援センター

あすか居宅介護支援事業所

山の上病院居宅介護支援事業所

セージュ山の手居宅介護支援事業所

活動・行事報告

- 五天山ふくしあ自衛消防訓練
- 開催日時 令和6年7月5日(金)開始：14:30～
避難完了：14:45
- 参加者利用者9名 職員6名 要介護6名 要支援3名
- 14:30 1階・台所ガスレンジ

より出火を確認

「火事です火元は台所です」

- 利用者に向けての声かけ、状況説明（相談室・静養室へ避難してください）
- 消火器による消火作業 応援要請のため五天山園に電話する。
- 初期消火に失敗しました
地下駐車場（車庫）へ避難してください

参加利用者様・見守り参加いただいた
地域の方へ無事避完了難を伝える



実施結果

- ①地下に避難したがスムーズに行えた
- ②参加した利用者様の混乱等特になかった

今後の課題

- ①今後の防災訓練の避難場所は消防の消火を考えると地下が妥当
- ②いつどこで火災が起きても冷静に対処できるよう準備が必要

ふくしあで簡単調理 実習 2色白玉のおしるこ作り

6月の午後、簡単おやつ作りを実施しました。利用者様5名の中でお菓子作りがお得意な方が先頭となり、まず分量と工程の確認、白玉粉を半分に分け、片方によもぎの粉を混ぜ白と緑2色の種を他の利用者様全員でこねて丸めてつぶして茹で上げ、盛り付けして美味しいおしるこを作りました。少ない材料と時間で簡単に準備できる白玉作りを今後も色々な味付けで作って楽しめたらと思います。



概ね3か月に1回の体力測定では歩行能力など総合的に評価する「Timed Up & Goテスト」を取り入れています。測定結果をもとに安全に散歩するために必要な機能や運動について見直しています。また、体力測定では、他に「両手握力」、「開眼片足立ち」、「5回立ち座り」、「長座位身体前屈」など全5種目の記録を取り長期的運動能力の推移を健康維持の為に把握しています。



フクシアはアカバナ科の落葉低木。原産地は中央、南アメリカ、ニュージーランド。季節は6～9月。花の色は、白、桃、紅、紅紫。花言葉は 暖かい心

平成26年8月に開設したデイサービス五天山ふくしあ、今年10周年の節目を迎えることができました。ひとえにご支援くださった皆様のおかげと、改めまして深く感謝と御礼申し上げます。

ご利用者様それぞれの

「健康で明るく生きがいのある生活を目指して」

その思いは、10年間変わらず繋げてきました。

もう10年と長くお付き合いいただいているご利用者様も複数いらっしゃいます。たくさんの人生の先輩方との出会いに、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

デイサービス五天山ふくしあ 職員一同

ご清聴ありがとうございました



主な交通機関

[JR北海道バス]

西42番 西野平和線 地下鉄発寒南駅より15分
「平和1条3丁目」下車徒歩10分

令和6年7月12日（金）

今年度の運営推進会議を開催いたしました。

「運営推進会議」とは、デイサービスの活動状況を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望・助言などいただく会議です。ご利用者様、ご利用者様のご家族、地域住民の代表者、地域包括支援センターの職員や、民生委員などにより構成される協議会を設置し、半年に1回開催しています。

デイサービスの活動はもちろん五天山ふくしあが取り組んでいることや地域の情報交換を行いました。今回は、7月5日（金）に実施いたしました自衛消防訓練についての報告。また自然災害時について意見が聞かれました。これからも「西平和会・五天山ふくしあ」として、西野昭和地区でどのように関わり貢献していけるか、様々な人々にとって住みよいまちづくりができるよう活動を続けていきます。



報告書

会議・委員会・その他

理事長	施設長	係
		

報告者	山田 守	デイサービス五天山ふくしあ
名称・主催	令和6年度 第1回 運営推進会議	
日時	令和6年7月12日（金曜日）	16時00分～16時30分
場所	五天山ふくしあ 機能訓練室	

- 1 出席者 刀裯谷 敦 様（昭和連合町内会長）
 大桶 信夫 様（西野地区まちづくりセンター所長）
 森田 龍雄 様（昭和連合町内会 福祉部長）
 岩谷 純子 様（西区地区民生委員児童委員協議会 会長）
 中村 真紀 様（西区第2包括支援センター副センター長）他の会議の為欠席
（ご利用者ご家族様）
（ご利用者ご家族様）
 坪井 奈美子（西区介護予防センター西野）
 前鼻 守（五天山ふくしあ管理者）
 山田 守（五天山ふくしあ）
 三間 純子（五天山ふくしあ）

: 内容：社会福祉法人 西平和会 前鼻理事長より挨拶を頂く。その後、次第に従い
 五天山ふくしあ山田より事業報告・活動報告を行い、皆様からご意見を頂戴する。

2 運営推進会議の開催目的

別添参照

令和5年度 事業報告

ADL 利得について（平均値の向上）

年間稼働率

契約者数及び利用者数等

別添参照

活動・行事報告

別添参照

今後の活動予定

- ・自然災害（地震・大雨等）を想定した訓練を11月に予定しています。
次回会議にて報告致します。
- ・平成26年8月1日開設 来月8月で開設10周年を迎えます。ご利用者皆様へは
毎年恒例の紅白まんじゅうをお配りしお祝いと致します。

3 質問・意見交換

刀祢谷様・災害時の避難場所については各町内でも知らない人がほとんどです。
日ごろから確認しておくといいでしょう。

岩谷様・地域の小学校が避難場所になっています。
ハザードマップを確認することが大切です。

大桶様・備蓄品等の準備が重要です。1人3日分の食料と水

前鼻理事長・札幌市防災DVDを確認して、日頃からの防災意識を高め防災のため
備えや行動をしてください。シミュレーション映像や実践例等を参考に
11月予定の訓練に役立ててください。

4 閉会

5 次回

令和6年12月以降に開催する予定です。